



恋愛詩集3



さつき

おもい

誰かの事を思う
こんな日には
その人のココロの中に
火がともっているはず

好きとか大事とかいう気持ちは
きっと言わなくても
伝わっているはずだから

誰かの事を嫌う そんな日には
その人のココロの火を
消してしまっているはず

嫌いとか憎いとかいう気持ちも
きっと言わなくても
伝わってしまうはずだから

今日は何人の人の火を消しただろう？
今日は何人の人の火をつけただろう？

消した数よりつけた数が多かった日には
自分も誰かから
ココロに火をともされてるんだろうね

つけた数より消した数が多かった日には
自分も誰かから
ココロの火を消されてるんだろうね

誰かのココロの火を灯し続けられるような
そんな生活が望み

夢

うたた寝の間に
見た夢は
何故か貴方が笑っていて
私に手を振っていた
それが何故か悲しくて
目が覚めたら
途方もなく悲しくなって
思わず電話をしてしまった

ごめんなさい
困らせるつもりじゃなかったの
私の傍から
離れないでね
たとえ夢の中だとしても

見かける

街で見つけた

あなたに似ている人を

顔・声・体格

そんなものじゃない

あなたと同じ雰囲気を持った人を

そうしたら

急にあなたが欲しくなったの

あなたの声が

あなたの唇が

あなたの広い胸が

おかしいかしら

でも欲しいのよ

あなたの何もかも

だから今日だけ

一日ベッドで抱きしめて

Always Yours

どれだけ離れていても
わたしはあなたの傍に居る
どれだけ離れていても
わたしはあなたの心に居る

あなたがわたしを夢に見たなら
あなたもわたしの夢に出ている

あなたの心に
わたしの心に
互いの心に
Always Yours
この言葉
在り続ける限り